

令和5・6年度 大島地区指定「指導方法改善」研究協力校

宇検村立田検小学校 公開研究会 令和7年1月30日(木)



本校児童の「表現する力」(書くこと,発表すること等)に対する課題を解決したいという本校職員の切実な願いから本研究は開始されました。

【児童の実態】

- O 全国学力・学習状況調査や鹿児島学習定着度調査において、自分の考えを与えられた条件にしたがって文章で表現する問題の正答率が低い。
- O 授業や日常生活の場面で、自分の考えをうまく 表現することができない児童が見られる。

児童の「表現力」に課題が見られました

【学校教育目標】

人権尊重の理念を踏まえ、自ら学び、豊かな心を もち、心身ともにたくましく生きぬく田検小学校の 子どもを育てる。

【目指す児童像】

自ら学び、自信をもって自己表現できる子ども



【研究主題】

自分の考えをもち,的確に伝える児童の育成

【目指す授業像】全ての児童が自分の考えをもち,その考えを基に話し合い、課題解決していく授業

【仮説 1】 学習者主体の授業の実現

【仮説 2】 児童が自分の考えを具体的にまとめる環境や時間等を工夫した授業

共通目標A 児童に<mark>当事者意識</mark>を もたせる授業 共通目標C 児童に学ぶ価値を実 感させる授業 共通目標B

児童が自分の考え方を<mark>具体化し、目的に応じたまとめ</mark>ができるようにする授業

公開研究会当日の様子

公開授業(I年,3年,5·6年)







分科会(1年、3年、5・6年)







研究発表(全体会 I)

指導講話(全体会Ⅱ)





参加者 52 人をお迎えし、「表現力の育成」を目指した授業を公開し、分科会では、発達段階に応じた表現力育成の在り方について熱心な協議が行われました。

「田検小学校の授業スタイル」の設計

単元導入時 1 興味間心が生まれる導入 2 課題(問題)意識の焦点化 3 学習課題(問題)・めあての設定 4 課題の予想と見通し 5 自力解決による最初の考え(仮説)の構築 6 考えの共有(学び合い) 7 自力解決による最終的な考えの構築 8 学習のまとめ 7 習熟 10 振り返り(自己評価、相互評価)

共通目標A(:当事者意識をもたせる)を達成するために

- ☆ 児童と共に学習計画や単元計画を作成する。
- ☆ 目指すべき到達点を明確にする。
- ☆ 学級の特性や児童の実態を生かす。

共通目標B(:考えを具体化し、目的に応じたまとめができるようにする)を達成するために

- ☆ 見方(視点)を明確にする。
- ☆ 事実(5W1H等)を洗い出す。
- ☆ 思考ツール等で考えを構造化する。
- ☆ 図・式・記号等を用いて整理,表現する。
- ☆ イメージを具体化する。

共通目標C(:学ぶ価値を実感させる)を達成するために

- ☆ 視点を明確にした振り返りを行う。
- ☆ 学習の成果を表現する場を設ける。
- ☆フィードバックの機会を設ける。
- ※ 考える時間の十分な確保 → 予習の充実、授業のスリム化

参加された先生方の声(一部)

単元終了時

- ・ 子どもが進んで自分の考えをもち、発言する姿が印象的でした。
- ・ 田検小の多くの実践や共通実践事項などが分かり、今後の参考になりました。
- ・ 児童の実態を的確に把握し、研修した成果が見える発表、授業でした。
- ・ 表現するためのツールや工夫が多く、勉強になりました。